

平成28年度

みんなの予算

心豊かな人材を育み、地域産業が発展し
にぎわいのある、生き生きとした暮らしができるまち



【も く じ】

まちの予算	1
お金の使い道	4
❶生涯を通して学び楽しむまちづくり	4
❷健やかで安心なまちづくり	6
❸力強い産業がいきづくまちづくり	8
❹くらしやすさを実感できるまちづくり	10
❺自立をめざすまちづくり	12
その他参考資料	14
まちの主な公共施設	22



平成28年6月

宮城県美里町



「美里町の さらなる発展」を 目指して

美里町は、本年1月1日をもって旧2町の合併から、10年を経過いたしました。11年目の町政運営となる平成28年度は、合併して誕生した「美里町」の第2ステージのスタートの年であり、多くの町民の皆様のお力添えにより美里町総合計画・美里町総合戦略を策定したところです。

本計画の推進に当たっては、重点政策分野として位置付けている「教育環境の充実と人材の育成」、「地域産業の発展と雇用の確保」、「人口減少の抑制と高齢社会への対応」、「子育て環境の整備」の各分野についても先見性と独創性に富む取組を積極的に進め、本町の将来像である「心豊かな人材を育み、地域産業が発展し、にぎわいのある、生き生きとした暮らしができるまち」の実現に向けて、平成28年度の施策を推進して参ります。

より良いまちづくりには、町民の皆様と情報を共有することが大切であることから、町の施策やその予算の使われ方、財政状況など、広くお知らせするために本年度も「みんなの予算」を作成したところです。

全ての施策の掲載ではありませんが、多くの皆様に町の予算をご覧いただき、町民の皆様のご理解ご協力をいただければ幸いです。

平成 28 年 6 月

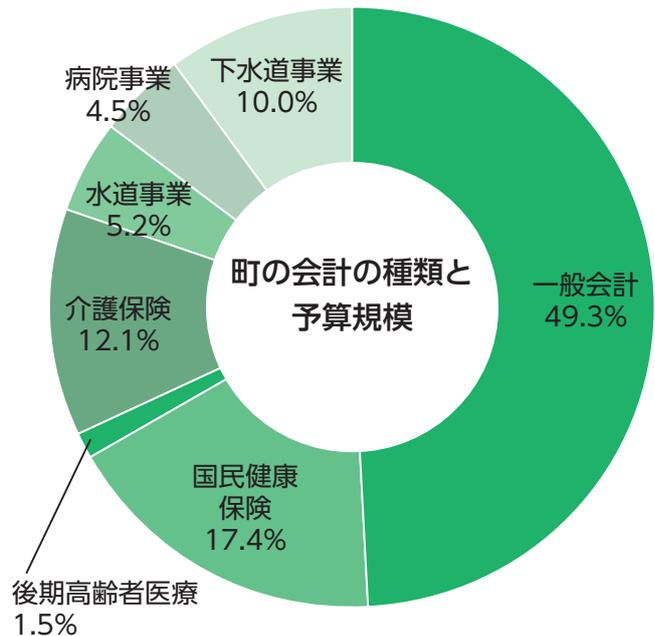
美里町長 相澤 清一

まちの予算

1 平成28年度予算状況

【町の会計の種類と予算規模】

○普通会計	
一般会計	98億1,425万円
○公営事業会計	
国民健康保険	34億6,013万円
後期高齢者医療	3億144万円
介護保険	24億846万円
(公営企業会計)	
水道事業	10億3,877万円
病院事業	8億9,989万円
下水道事業	19億9,758万円
合計	199億1,052万円



美里町の予算は、目的ごとに7種類の会計（財布）に分かれます。その7種類の会計は、大きく2つに区分することができます。

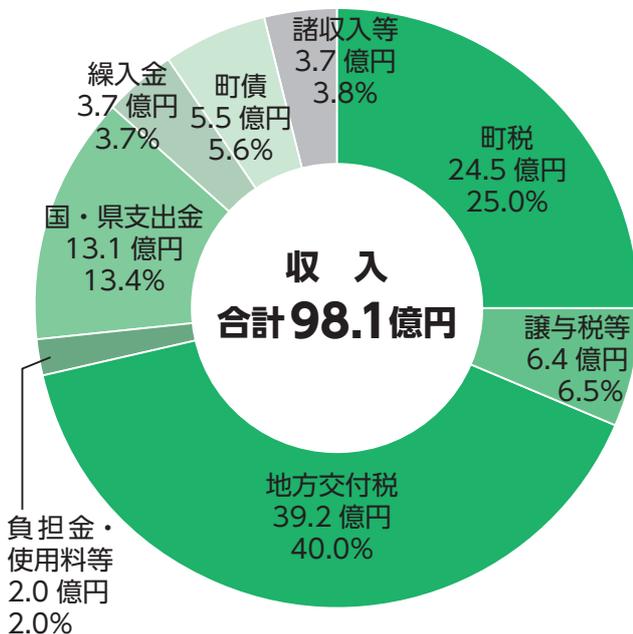
- 普通会計…福祉・教育・土木・衛生など町の基本的な行政サービスに関する会計です。
- 公営事業会計…国民健康保険など皆さんの公的医療に関する会計や水道、下水道といった生活基盤に関する会計です。

なお、水道や下水道、病院に関する会計を特に「公営企業会計」といいます。公共下水道事業と農業集落排水事業は、平成28年度から1つの事業会計となります。

【一般会計の中身】

それでは、町の予算で1番金額の大きい「一般会計」を紹介します。

一般会計の収入の大部分は、皆さんに納めていただく税金となっています。収入の内容は、大きく分けると次のとおりとなります。



○町税

町民税や固定資産税など町へ納付する税金です。

○譲与税等

自動車重量税や自動車取得税など、国や県に納付された税金の一部が町に交付されるお金です。

○地方交付税

国税である所得税、酒税、法人税及び消費税の一定割合を財源として、全国の市町村が同水準のサービスを住民に提供できるように国から交付されるお金です。

○負担金・使用料等

町営住宅の家賃や保育料など使用者の負担するお金です。

○国・県支出金

国や県からの補助金などです。

○繰入金

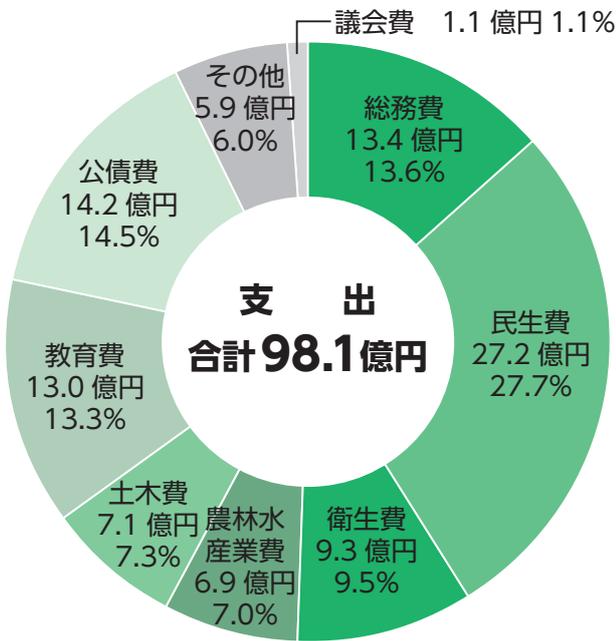
収入不足の場合などに、基金（貯金）を取り崩して収支のバランスをとります。

○町債

大規模な道路建設や施設整備などの借入金です。



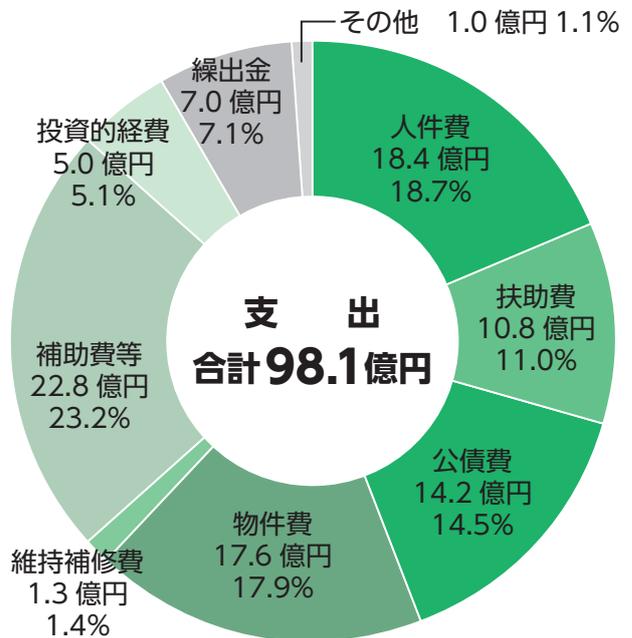
【目的別】 町の支出をどんな「目的」に使うかで区分すると次のとおりです。



- 議会費**
議会議員の報酬や議会だよりの発行などの費用です。
- 総務費**
庁舎などの施設管理費や住民バス運行費、住民票の交付などに関する費用です。
- 民生費**
障害のある方やお年寄りへの福祉サービス、子育て支援に関する費用です。
- 衛生費**
健康診査やごみ処理などに関する費用です。
- 農林水産業費**
産業振興に関する費用です。
- 土木費**
道路の整備などに関する費用です。
- 教育費**
学校など教育に関する施設管理や事業の費用です。
- 公債費**
借入金の返済額です。

【性質別】 町の支出がどんな「経費」に使われるか区分すると次のとおりです。

- 人件費**
職員の給料及び手当や委員等の報酬などです。
- 扶助費**
生活などに困っている方を支援する費用です。
- 公債費**
借入金の返済額です。
- 物件費**
事務用品の購入、光熱水費や郵便料、施設の掃除や警備に関する費用などです。
- 維持補修費**
道路や建物などが壊れたときの修理費です。
- 補助費等**
行政区などのさまざまな団体への補助金などです。
- 投資的経費**
道路や建物などを整備する費用などです。
- 繰出金**
一般会計以外の特別会計を支援する費用です。
- その他**
貯金をしたり、皆さんへお金を貸したりする費用です。



【目的別】と【性質別】はどこが違う？

たとえば、「小学校の先生が、学校の授業で使うために紙を買った」場合、

【目的別】 は、学校の授業で使うので「教育費」、

【性質別】 は、紙を買うので消耗品の購入費となり「物件費」に分類されます。



2 一般会計を家計に例えると!?

町の予算は、金額が大きく、また、行政用語での説明が多いため、イメージすることが難しいと思います。

そこで、平成 28 年度の予算額を年収 400 万円として家計に例えてみました。

【支 出】

食費 (人件費)	806,301円
光熱水費、生活用品の購入など (物件費)	769,551円
家や車の補修費(維持補修費)	58,202円
医療費(扶助費)	474,121円
町内会費 (補助費等(公営企業への補助金除く。))	697,510円
家や車庫の建築(投資的経費)	220,186円
ローンの返済(公債費)	621,859円
子供のお小遣いや仕送り (繰出金、公営企業への補助金)	306,827円
貯金(積立金)	7,800円
株式投資(投資及び出資金)	422円
友人へ貸したお金(貸付金)	32,839円
緊急時の備え(予備費)	4,382円
支出合計	4,000,000円

【収 入】

給料(住民税、使用料など)	1,079,978円
親などからの援助 (地方交付税、補助金など)	2,395,422円
貯金の取崩し(基金の繰り入れ)	148,456円
ローンの借入れ(町債)	224,082円
その他(諸収入など)	152,062円
収入合計	4,000,000円

